

科目ナンバリング		U-LAS15 10009 LJ58									
授業科目名 <英訳>		地球の営みII - 地球史 How the Earth Works II -Earth's History				担当者所属 職名・氏名		人間・環境学研究科 教授 小木曽 哲			
群	自然科学科目群			分野(分類)	地球科学(基礎)			使用言語	日本語		
旧群	B群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）				
開講年度・ 開講期	2025・後期		曜時限	月5		配当学年	全回生	対象学生	文系向		
【授業の概要・目的】											
地球は、今からおよそ46億年前、原始太陽系星雲の中で、融けた岩石と金属からなる「火の玉」として誕生した。その頃の地球は、金星・火星・水星とお互いに似たような惑星だったらしい。しかし、その後の歴史の中で、地球だけに生命が誕生し、ついには人類という知的生命体が繁栄できるまでに至った。なぜ地球だけが、他の惑星とは違う運命をたどったのだろうか。そこには、どのような必然性と偶然性があったのだろうか。 本授業では、地球を地球たらしめている要因は何か、という視点を軸にしながら、46億年という悠久の時間の中で、地球が生命惑星としてどのように進化してきたのか、その変動の歴史を解説する。											
【到達目標】											
地球史上の重要な出来事についての知識を基に、地球という惑星の特殊性・普遍性、地球が現在のようになったことの必然性・偶然性に関して自ら考察し、「自分なりの地球観」を持つ。											
【授業計画と内容】											
以下のテーマについて、1テーマあたり1～2週の講義を、フィードバックを含めて全15回分行う。											
1．太陽系と地球の形成 2．プレートテクトニクスの始まり 3．生命の誕生と進化 4．大気の進化 5．大陸の形成と分裂 6．全地球凍結 7．生命の大進化と大絶滅 8．気候の温暖化と寒冷化 9．人類の歴史と地球環境											
【履修要件】											
高校での地学履修は前提としない。地球に興味がある人は誰でも歓迎。授業中に必要となる知識については、授業内で適宜解説する。											
【成績評価の方法・観点】											
授業への参加状況と、講義のテーマに対応して課す課題（複数回）の内容で評価する。課題は、自分なりの地球観で論考できているか、という観点で評価する。詳細は第1回目の講義時に説明する。											
----- 地球の営みII - 地球史(2)へ続く↓↓↓ -----											

地球の営みⅡ - 地球史(2)

[教科書]

使用しない

[参考書等]

(参考書)
授業中に紹介する

[授業外学修(予習・復習)等]

授業中に紹介する参考文献の関連部分を読むことを推奨する。

[その他(オフィスアワー等)]

[主要授業科目(学部・学科名)]